

市町村名		読谷村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①		危険生物駆除事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部課名	総務部 生活環境課		事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容							
これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の高い台湾ハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすことで、より安全な観光地を目指す。							
効果発現年度							
■当年度 □後年度(年度)							
実施方法							
□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)							
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a)当初予算額		7,677	4,519	3,210	3,210	3,169
	(b)予算現額		6,002	3,619	1,925	1,925	2,750
	(c)増減額(b-a)		▲1,675	▲900	▲1,285	▲1,285	▲419
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)		6,002	3,619	1,925	1,925	2,750
	B.執行済額		6,002	3,619	1,925	1,925	2,750
	うち交付金充当額		4,801	2,895	1,540	1,540	2,200
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 指名競争入札による入札残分を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況							
R5活動目標(指標)			達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器200器設置			目標	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)
			実績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了
定期巡回・管理の実施及び処分			目標	(24回)	(18回)	(15回)	(15回)
			実績	19回	17.9回	16.6回	14.9回
危険周知看板100枚の管理			目標	(100枚)	(100枚)	(100枚)	(100枚)
			実績	100枚	100枚	100枚	100枚
餌用マウスの飼育(繁殖)管理			目標	(900匹)	(700匹)	(700匹)	(700匹)
			実績	900匹	700匹	700匹	700匹
達成状況説明			・令和5年4月中旬に委託業務を発注し、ハブ捕獲器200器を設置した。 ・捕獲するためのエサとなるマウスを飼育し、設置期間における3週間を目途に巡回・捕獲器の管理を行った。 ・危険周知看板の維持管理を行い、観光客及び村民への啓発に繋げた。				
成果目標(指標)及び進捗状況							
R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件			目標	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)
			実績		4件	4件	0件
【参考指標】 ハブの捕獲数			目標	()	(-)	(-)	(-)
			実績		138匹	60匹	53匹
進捗状況説明			前年度と比較すると捕獲数は減少している。咬症被害件数は0件であった。 令和5年度:ハブ類38匹 その他ヘビ類15匹 計53匹 令和4年度:ハブ類30匹 その他ヘビ類30匹 計60匹				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件) ・契約期間外における咬傷被害防止や個体数増加抑制のため、毎年度早期着手が必要と考える。 ・今年度の咬傷被害が0件であった。今後も咬傷被害0を継続していくためにも引き続き、注意喚起看板の徹底管理を行い、歩行者等へ周知していくことが必要である。	(村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件) ・年度当初からの着手を目指し、早期の業者選定、入札執行を図る。 ・事業の概要や読谷村におけるハブ被害の現状について、村HPやFMラジオを通しての周知をさらに高める。 ・エリア毎の捕獲実績数を鑑み、設置箇所及び設置数の再検討を行う。
今後の取り組み方針		
(村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件) ・年度当初に早期着手し、ハブ等の活動が活発になる前に捕獲器を設置し、危険性の除去向上に努める。 ・村のHPや広報誌、FMラジオを活用し、村民及び観光客に対し、危険生物であるハブへの注意喚起を行い、事業の理解と協力を得るために、更なる広報活動を行う。 ・捕獲器の設置及び注意喚起看板の維持管理を行う。定期的な捕獲数の検証を行い、設置箇所の改善等の検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,750</td><td>2,750</td><td>2,200</td><td>550</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,750	2,750	2,200	550	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,750	2,750	2,200	550	0										
読谷村 2,750千円 委託料 2,750千円 有限会社 読谷環境 2,750千円 〔ハブの捕獲・巡回・処分委〕														
資金の流 れ、 点 検 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札方式により決定した。県内実績を勘案し選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模として不用額は、全て入札残であり、適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	ヨミタンJOHO県外発信事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和4~13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	読谷村の認知度向上と誘客を目的に読谷村の観光情報を、全国のコミュニティFMラジオ局を活用して県外リスナーや訪れる観光客に対してタビマエ(旅前)での観光情報を発信する。また、番組可聴エリアに赴き番組周知および本村の観光、特産品をPRする。						
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)				4,888	5,360	
					4,734	3,885	
					▲154	▲1,475	
					0	0	
					4,734	3,885	
	B. 執行済額					4,418	3,844
	うち交付金充当額					3,534	3,075
	次年度繰越額					0	0
	執行率(%) (B/A)					93.3%	98.9%
予算の状況の説明		事業の活動目標は達成しているが、当初計画よりも県外でのPR活動が少なかったことによる執行残。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	読谷村観光情報番組を作成し、県外コミュニティFMラジオ局で放映し、情報発信を行う。 (計2回以上) ※R4年度の活動目標(指標)は[コミュニティFM放送による番組制作・県外への発信]。	目 標	()	()	(実施)	(2回以上)	
		実 績			実施(46回)	14回放送	
	読谷村観光情報番組の可聴エリアにて、読谷村観光情報PR活動を行う。 (計2回以上) ※R4年度の活動目標(指標)は[番組及び読谷村のPR活動]。	目 標	()	()	(実施)	(2回以上)	
		実 績			実施(2回)	2回	
達成状況説明	・観光情報番組を県外のコミュニティFMラジオ局(3局)を活用し、14回の旅マエ情報発信を放送することができた。 ・ラジオ番組可聴エリアへ赴き、番組周知および計2回の観光PR活動を実施し、読谷村の認知度向上と観光誘客を図った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	県外での情報発信聴取人数 (テレビ、ラジオ、ネット配信等) ※R4年度の成果目標(指標)は、[コミュニティFM放送による番組制作・県外への発信]である。	目 標	()	()	(100万人以上)	(120万人以上)	()
		実 績			1,013,900人	2,670,762人	
	県外PR活動イベント来場者数 ※R4年度の成果目標(指標)は、[番組及び読谷村の県外PR活動]である。	目 標	()	()	(12,000人以上)	(4,000人以上)	()
		実 績			5,000人	82,215人	
	進捗状況説明	・観光情報等や読谷村の基本情報を番組内で紹介し、ラジオ等のエリア聴取可能目標人数を超え、情報発信することができた。 ・県外PR活動は大規模イベントに出展することができ目標値を上回る来場者数への読谷村認知度向上及び観光誘客を図ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(県外での情報発信聴取人数) ・より多くの可聴人数が居るラジオ局で情報発信を行うことができたが、放送する時間帯、番組の内容、年齢層に沿った観光情報を発信しなければならない。 ・県外PRイベント出店の際に事前に出展告知をするなど、集客活動も合わせた形で取り組まなければならない。	(県外での情報発信聴取人数) ラジオで発信した情報が実際の誘客に繋がったかを検証する必要がある。 (県外での聴取PR活動人数) ・お祭りと旅行博覧会でPR活動を実施したが、お祭りでは興味を引くことはできたが、特産品等の購入希望の声もあり、より効果的なPRを行うためにも、今後は物品販売も検討していきたい。
今後の取り組み方針		
ラジオを活用した観光情報発信事業は、一定の成果を上げることができた。今後は、SNS等での観光情報発信を強化し、いつでも・どこでも・誰でもリアルタイムで観光情報が取得できるようプラットフォームを構築していく。現在、委託事業者がそれらを実践するためYouTube配信、アーカイブ作成に取り組んでいることから、それらを支援し引き続き旅マエ情報発信に取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,844</td><td>3,844</td><td>3,075</td><td>769</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 読谷村 3,844千円 委託料 3,384千円 株式会社FMよみたん 3,384千円 (番組制作・放送および県外PR活動諸経費委託) 旅費等 363千円 (県外PR活動) 需用費 97千円 プリントステーション創明館 97千円 (PR活動用チラシの印刷)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,844	3,844	3,075	769	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,844	3,844	3,075	769	0										
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内コミュニティ放送局3社からの見積徴取により、妥当であったと考える。 ○執行残はあったが、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であると判断する。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	読谷村スポーツコンベンション促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア		
担当部課名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化		
事業内容	スポーツキャンプ等の誘致を促進し、地域への波及効果を高める取り組みを行う。キャンプチーム本拠地等でファン層に向けた観光・物産（特産品）PRを実施し、観光誘客を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a) 当初予算額	21,441	16,278	13,012	25,585	39,216
		(b) 予算現額	21,441	3,920	7,112	25,585	34,073
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 12,358	▲ 5,900	0	▲ 5,143
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	21,441	3,920	7,112	25,585	34,073
		B. 執行済額	20,754	3,920	5,882	20,690	31,587
		うち交付金充当額	16,602	3,136	4,706	16,552	25,269
		次年度繰越額					
		執行率（％）(B/A)	96.8%	100.0%	82.7%	80.9%	92.7%
予算の状況の説明		概ね計画通りに事業を執行することができた。 執行残の主な要因は、実証キャンプ参加人数、観光誘客活動時の参加人数の実績残である。					
活動目標（指標）及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	各種スポーツキャンプ等誘致活動	目 標	（ 4回 ）	（ 2回 ）	（ 3回 ）	（ 3回 ）	
		実 績	1回	2回	3回	5回	
	キーパーソン招へい	目 標	（ ）	（ ）	（ 2団体以上 ）	（ 2団体以上 ）	
		実 績			3団体	2団体	
	実証キャンプ支援	目 標	（ ）	（ ）	（ 2団体以上 ）	（ 2団体以上 ）	
		実 績			2団体	2団体	
	キャンプチーム本拠地等での観光誘客活動	目 標	（ 4回 ）	（ 3回 ）	（ 3回 ）	（ 3回 ）	
		実 績	1回	3回	3回	3回	
	キャンプ期間中の集客イベントの実施	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 1回以上 ）	
		実 績	実施	実施	実施	1回	
	受入体制強化・協議会運営	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 実施 ）	
		実 績				実施	
スポーツコンベンション経済波及効果調査の実施	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 実施 ）		
	実 績				実施		
達成状況説明	・5回の誘致活動を実施。トップセールスによる複数競技団体を訪問するなどキャンプ実施に繋がる活動となった。また、大規模なスポーツ総合展示会へも出展し、キャンプ地読谷村を全国へPRした。 ・3回の誘客活動を実施。コロナ規制緩和に伴い、積極的な活動を展開した。 ・春季キャンプ時期の村内における観光誘客イベントを計画し実施した。 ・新規競技を誘致するための、キーパーソン招聘を行い、村内の施設・環境を評価いただいた。 ・新規競技のキャンプ実証を行い、今後の継続的なキャンプに向けた意見の聴取やキャンプ以外での環境を体感してもらうことでのキャンプ地魅力向上に繋がった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
	スポーツコンベンション受入件数	目 標	（ ）	（ 29団体 ）	（ 15件以上 ）	（ 18件以上 ）	（ ）
		実 績		11団体	15件	16件	
	県外誘客イベントPR観客数	目 標	（ ）	（ 74,000人 ）	（ 30,000人以上 ）	（ 48,000人以上 ）	（ ）
		実 績		28,625人	87,750人	53,518人	
	キャンプ期間中の来場者数	目 標	（ ）	（ 23,700人 ）	（ 15,000人以上 ）	（ 20,000人以上 ）	（ ）
		実 績		3,906人	18,000人	21,600人	
	スポーツコンベンション経済波及効果調査の完了	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 完了 ）	（ ）
		実 績				完了	
進捗状況説明	・スポーツキャンプ等受入件数について、台風の影響及び同一競技種目のキャンプ日程重複により、目標達成には至らなかった。 ・県外誘客イベントPR観客数については、コロナ規制緩和に伴い、多くのファンとより密接にコミュニケーションを図ることができた。またPR会場で伝統芸能団の演奏を披露することで、本村の観光・地域資源の認知度向上が図られ目標を達成した。 ・キャンプ期間中の来場者数について、県外誘客活動や集客イベント実施、積極的な情報発信の効果も相まって、目標を達成することができた。 ・計画していたスポーツコンベンション経済波及効果調査を完了し、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(スポーツコンベンション受入件数) ・キャンプを受け入れる村内の主要なホテルが年間をととしてリニューアル工事を行った影響で目標とする受入件数が達成できなかった。 ・キーパーソン招聘やキャンプ実証等においては、本村でのキャンプについて概ね高い評価を得られたが、意見の中で読谷村の施設や性質上、キャンプに適さない競技も見受けられた。 ・ビーチを活用したビーチスポーツを、令和5年度に初実施。 (県外誘客イベントPR観客数・キャンプ期間中の来場者数) ・新型コロナウイルス5類移行に伴い、観光・経済の活発化が見られ、誘客活動や受入活動を積極的に行うことができた。 (スポーツコンベンション経済波及効果調査) 村内事業所アンケートの中で、スポーツコンベンションによる地域活性化を期待・要望する声が多く挙げられていた。	(スポーツコンベンション受入件数) ・読谷村でのキャンプ実施に適さない競技(陸上中長距離)を把握することができたため、より明確な誘致活動(ターゲット)を行う事が必要である。 ・ユニバーサルスポーツ(フレスコボール)の実証キャンプ実施により、読谷村で公式戦の実施に繋げることができた。競技参加者だけでなく、体験会等の実施により多くの村民・観光客が参加できるような仕組みづくりを検討していく。 ・村内施設の有効活用として、あらかじめ施設の年間予約状況等を把握し、戦略的な誘致活動を展開していく必要がある。 (県外誘客イベントPR観客数・キャンプ期間中の来場者数) ファン等への誘客活動について、パンフレットやサンプリング品の配布等で誘客を図ったが、より直接来訪動機に繋がるような取り組みを検討していく。 キャンプ期間中のイベントについて、令和5年度は更なる集客を目的とし、シャトルバスを配置。一定の需要を確認出来たため、継続・拡大について前向きに検討を進めていく。 経済波及効果調査によって得られた結果を、受入協議会(関係団体)にて情報共有し、更なる地域活性化に向けた取組を検討していく。
今後の取り組み方針		
	(スポーツコンベンション受入件数) ・キーパーソン招聘やキャンプ等実証により新規及び受入推進競技についてその定着化等を図り、スポーツ施設のみならず自然環境やその他施設を活用するスポーツ(ユニバーサルスポーツ等)のキャンプや大会等イベントの誘致により、スポーツコンベンションの幅を広げ、多種多様な方々を受入することによる様々な波及効果の創出を検討する。 ・県内受入先進地となっているラグビーをはじめとした多くの競技について、沖縄県が推進している他市町村を含めた全県的な受入との連携を行い、沖縄キャンプ定着化を図る。 (県外誘客イベントPR観客数・キャンプ期間中の来場者数) ・県外誘客イベント等により本村の観光・物産をPRを継続する。観光協会SNSやチームとの連携によりファンが読谷村の情報を取得機会を増やし、来村の機会・動機付けに繋がる情報を発信する。 ・読谷村スポーツコンベンション受入協議会を開催し、関係団体との情報共有・意見交換・提案等を行う事により、受入時の地域活性化につなげる。 ・経済波及効果調査時に得られたデータ・結果を、今後のスポーツコンベンション事業の事業展開に活用していく。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>31,587</td><td>31,587</td><td>25,269</td><td>6,318</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	31,587	31,587	25,269	6,318	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
31,587	31,587	25,269	6,318	0										
読谷村 31,587千円 旅費等 990千円 委託料 30,597千円 一社)読谷村観光協会 30,597千円 県外での誘致・誘客活動 令和5年度 スポーツコンベンション促進事業委託														
資金の流 点・検 査・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令第167条の2第1項第2号を根拠とした業務に精通した者との随意契約としており妥当である。 ○予算規模については、事業目標などは概ね達成されているため適正な予算規模であったと考えられる。 ○費用・使途等については、額の確定時において支出などに関する書類により確認、適正であったと考えられる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－（2）－エ 時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進			
担当部課名	教育委員会 学校指導課	事業実施（予定）年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-（1）		
事業内容	村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するため支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	44,426	49,374	50,467	69,307	84,512
		(b) 予算現額	43,313	49,283	47,914	58,065	75,442
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,113	▲ 91	▲ 2,553	▲ 11,242	▲ 9,070
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	43,313	49,283	47,914	58,065	75,442
		B. 執行済額	43,313	47,153	47,245	55,642	68,646
		うち交付金充当額	34,650	37,721	37,796	44,513	54,917
		次年度繰越額					
		執行率（％）(B/A)	100.0%	95.7%	98.6%	95.8%	91.0%
	予算の状況の説明	年度途中で退職が生じ、その後人材確保に努めたが、年度末まで人員配置ができなかったこと、また、勤務見込時間数より実績が少なくなったことに伴い報酬が減額となった為、事業費9,070千円を減額した。					
活動目標（指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	特別教育支援員配置 幼稚園【5園】：5名	目 標	（ 5 名 ）	（ 5 名 ）	（ 5 名 ）	（ 5 名 ）	
		実 績	5 名	5 名	4 名	4 名	
	特別教育支援員配置 小学校【5校】：10名	目 標	（ 10 名 ）	（ 10 名 ）	（ 10 名 ）	（ 10 名 ）	
		実 績	10 名	10 名	10 名	10 名	
	特別教育支援員配置 中学校【2校】：4名	目 標	（ 4 名 ）	（ 4 名 ）	（ 4 名 ）	（ 4 名 ）	
		実 績	4 名	4 名	4 名	4 名	
	特別支援教育専門指導員 教育委員会：1名	目 標	（ 1 名 ）	（ 1 名 ）	（ 1 名 ）	（ 1 名 ）	
		実 績	1 名	1 名	1 名	1 名	
【参考指標】 特別支援ヘルパー 幼稚園：12名、小学校6名、中学校：1名	目 標	（ 名 ）	（ 名 ）	（ 14 名 ）	（ 19 名 ）		
	実 績	名	名	14 名	19 名		
	達成状況説明	活動目標である特別支援教育支援員、専門員の配置について、概ね計画通り達成できたことで、要支援幼児・児童生徒への支援体制が構築でき、個々に応じたきめ細やかな支援を行うことができた。					
成果目標（指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
	特別支援教育支援員及び特別支援ヘルパーの支援により困難が改善された割合（80％以上）	目 標	（ ）	（ 80％以上 ）	（ 80％以上 ）	（ 80％以上 ）	（ ）
		実 績		91%	86%	89%	
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	対象となる幼児・児童生徒の保護者に対し、アンケートを実施した結果、学校生活や学習上の困難が改善されたと回答した割合は89%となった。年間を通した支援員の配置により、個々の支援ニーズに応じた支援内容と支援体制を構築し、継続した支援を行うことで目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(特別支援教育支援員及び特別支援ヘルパーの支援により困難が改善された割合(80%以上)) ・支援員を配置することで、対象幼児・児童生徒の個々に応じた支援をすることができた。さらに、特に介助が必要な児童への特別支援ヘルパーを配置することで、対象児童の支援体制の確立することができた。	(特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合(80%以上)) ・障害をもつ幼児・児童生徒が増加していることから現在の支援体制に限界があり、支援員の体制やあり方について検討する必要がある。 ・また、支援員、ヘルパーの任用時の資格要件の拡充を行い、多様な人材を確保していくことを検討する。
今後の取り組み方針		
(特別支援教育支援員及び特別支援ヘルパーの支援により困難が改善された割合(80%以上)) ・今後も継続的に特別支援教育支援員を配置し、対象幼児・児童生徒への支援を行うとともに、障害のニーズに応じた支援員(特別支援教育支援員、特別支援ヘルパー)の配置を検討する。また、支援員、ヘルパーの任用時の資格要件の拡充を行い多様な人材を確保し支援を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>70,866</td><td>68,646</td><td>54,917</td><td>13,729</td><td>2,220</td></tr> </table> 読谷村 68,646千円 報酬 50,018千円 特別支援教育支援員 19名 特別支援ヘルパー 19名 給料 9,283千円 職員手当等 8,175千円 特別支援教育支援員 19名 旅費 1,170千円 特別支援教育支援員 15名 特別支援ヘルパー 19名 ほか 読谷村負担分2,220千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	70,866	68,646	54,917	13,729	2,220
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
70,866	68,646	54,917	13,729	2,220										
資金使途の流れ、点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。 ○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則及び要綱により予算規模を決定しており、適切な規模であった。 ○費目・使途は、支出等に関する書類により確認し、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	中学生海外ホームステイ派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア 時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進	
担当部課名	教育委員会 学校指導課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、村内在住の中学生を英語圏へ派遣する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,600	3,600	3,600	3,600	3,000
		(b)予算現額	3,600	3,300	3,600	3,300	3,000
		(c)増減額(b-a)	0	▲300	0	▲300	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	3,600	3,300	3,300	3,300	3,000
	B.執行済額		3,600	3,300	3,300	3,300	2,427
	うち交付金充当額		2,880	2,640	2,880	2,640	2,179
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.9%
予算の状況の説明		補助金額の見直しを行い、派遣人数を変更したことに伴い事業費275千円が減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R5年度	
	村内在住中学生を英語圏へ派遣する	目標	(12名)	(12名)	(派遣)	(派遣)	
		実績	11名	12名	11名	6名	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	夏休み期間を利用して、村内在住中学生6名ををカリフォルニア州サンタマリアへ派遣し、語学研修や体験学習、ホームステイを実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R5年度	目標値 (年度)
	保護者を対象としたアンケートを実施し、帰国後に国際的な視野が広まったと回答した割合80%以上	目標	()	(80%以上)	(80%)	(80%以上)	()
		実績		100%	90%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	帰国後に派遣した中学生の保護者に対し、アンケートを実施した結果、国際的な視野が広まったと感じた保護者の割合は100%であり、目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・補助額と同額以上の自己負担が生じることから、保護者の金銭的負担が大きく、経済的理由で応募者が限定される可能性がある。 ・参加した生徒達からは「」「」という声があり、今後も継続的に派遣を行っていきたいが、特に昨今は、国際的な社会情勢等を踏まえて実施していく必要がある。	・経済的な理由で応募を諦めることがないよう、補助率の引き上げ等について引き続き検討する。 ・派遣生徒の安全を第一に事業を実施していく。
今後の取り組み方針		
・補助率の引き上げや、家庭の経済事業に左右されるに応募できる枠を設けるなど、取組みの検証結果を踏まえ検討する。 ・安全性が高く、文化や教育を学ぶに相応しい派遣先を広く検討するとともに、生徒達の安全確保が困難であると判断した場合は中止も念頭に置いて事業を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,724</td><td>2,724</td><td>2,179</td><td>545</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 2,724千円 補助金 2,724千円 派遣対象者 保護者(6名) 2,724千円 中学生海外ホームステイ派遣事業に係る経費					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,724	2,724	2,179	545	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,724	2,724	2,179	545	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣対象となる生徒は、教育委員会で書類及び面接によって公平に選考しており、選定方法は妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○読谷村における沖縄振興特別推進市町村交付金事業補助金交付規則に基づき予算規模を決定しており、適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○派遣対象者の保護者は、事業費の約3割を負担しており、事業内容から判断しても妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであるか等について支出等に関する書類により確認、適当である。											

市町村名	読谷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	ICT機能強化事業(小学校デジタル教科書)			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部課名	読谷教育委員会 学校指導課	事業実施 (予定)年度	平成27～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、小学校にデジタル教科書を整備する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				H27年度	R1年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額			10,647	15,358	16,023
		(b)予算現額			10,647	8,408	3,500
		(c)増減額(b-a)			0	▲ 6,950	▲ 12,523
		(d)繰越額					
		A. 計(b+d)			10,647	8,408	3,500
	B. 執行済額			10,114	8,408	2,959	
	うち交付金充当額			8,091	6,726	2,367	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			95.0%	100.0%	84.5%	
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。 事業費の減額541千円は入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			年度	H27年度	R1年度	R5年度	
	村立5小学校へデジタル教科書を整備	目 標	()	(5校)	(5校)	(5校)	
		実 績		5校	5校	5校	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	村立5小学校へ対し、国語(1年～6年)、英語(6年)の指導者用デジタル教科書の整備を行った。(クラウド版)						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	H27年度	R1年度	R5年度	目標値 (R6年度)
	村立5小学校へデジタル教科書の整備の完了	目 標	()	(完了)	()	(完了)	()
		実 績		完了		完了	
	【R6成果目標】 児童へのアンケートで、デジタル教科書を活用した授業がわかりやすかったかの割合(80%以上)を含め、デジタル教科書の活用のあり方について検証	目 標	()	()	(80%以上)	()	(80%以上)
		実 績			92.50%		
	進 捗 状 況 説 明	令和6年度より活用になるので、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R5年度に予定していたデジタル教科書を整備することができた。	令和6年度より活用になるので、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
今後の取り組み方針		
今後もデジタル教科書を活用した授業を展開する事により、「わかる授業」「確かな学力」を育成し、さらに、特別支援クラスについては、教科書を転写するだけでなく、絵や図表・音声化機能等を効果的に利用して、児童生徒の興味・関心を高めるような授業展開を行い、学校教育の質の確保を図る ・本事業の在り方について、アンケートにより検証する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,959</td><td>2,959</td><td>2,367</td><td>592</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 2,959千円 備品購入費 2,959千円 誠文堂 2,959千円 デジタル教科書の購入					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,959	2,959	2,367	592	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,959	2,959	2,367	592	0										
資金使途の流れ、点検評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○落札業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模として不用額は、全て入札残であり、適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベースを拡充し、普及活動を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000	7,000	7,000	6,500	12,007
		(b)予算現額	10,350	7,170	7,000	6,091	12,833
		(c)増減額(b-a)	350	170	0	▲409	826
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	10,350	7,170	7,000	6,091	12,833
	B.執行済額		9,518	6,892	6,998	5,714	12,807
	うち交付金充当額		7,614	5,512	5,598	4,571	10,245
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		92.0%	96.1%	100.0%	93.8%	99.8%
予算の状況の説明		当初雇用予定会計年度任用職員の交代に伴う報酬および職員手当205千円を増額した。 人事院勧告に伴う会計年度任用職員の報酬および職員手当621千円を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	HPへ単語・民話・音声の追加・追記と公開	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	辞典作成のための語彙データベースの内容推敲	目標	()	()	()	(14,000件以上)	
		実績				14,469件	
	しまくとぅば講座実施回数	目標	()	()	(20回)	(20回)	
実績				22回	31回		
達成状況説明	・HP(データベース)「読谷村しまくとぅば単語帳」へ語彙の意味・説明の追記・修正約14,000件。 ・読谷村史編集室Youtubeチャンネルにしまくとぅば関連動画(講座等)28本を公開。 ・辞典作成のための語彙の内容推敲(校正)を「ア」～「ン」まで一度目の確認終了。 ・しまくとぅば講座のほか、普及活動として展示会(会期1か月1,709人観覧)、各自治会への呼びかけ(12回400名対象)、村広報誌でのしまくとぅば記事連載(毎月)、コミュニティラジオへの出演(11回)、各種団体との普及のための意見交換会(6回)を実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	HP(データベース)アクセス数	目標	()	(800件)	(800件)	(20,000件)	()
		実績		5,646件	50,665件	91,351件	
	辞典作成のための必要情報確定(品詞、表記方法など)	目標	()	()	()	(必要情報確定)	()
		実績				必要情報確定	
	講座総受講者数および講座満足度	目標	()	()	受講者数:550人 講座満足度:80%	受講者数:550人 講座満足度:80%	
		実績			受講者数:743人 講座満足度:82%	受講者数:701人 講座満足度:86%	
進捗状況説明	・HP(しまくとぅば関連データベース)アクセス数(令和5年4月～令和6年3月):総アクセス数91,351件(内「読谷村しまくとぅば単語帳」部分79,787件)となっており、目標値を大きく上回っている。 ・講座受講者数、満足度ともに目標値を上回っている。子ども世代を中心に一般村民向け講座も実施した。 ・しまくとぅば講座のほか、これまでの成果物を活用した展示会(会期1か月1,709人観覧)、各自治会への呼びかけ(12回400名対象)、村広報誌でのしまくとぅば記事連載(毎月)、コミュニティラジオへの出演(11回)、各種団体との普及のための意見交換会(6回)を実施し普及活動に努めた。展示会や広報誌のアンケート結果より好評価を得ていることがわかる。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(HP(データベース)アクセス数) ・HP立ち上げより順調にアクセス数が伸びている。特に令和3年度に公開した「読谷村しまくとぅば単語帳」部分のアクセス数が突出して伸びている。しまくとぅばを検索できるデータベースサイトとして認知されてきていることがわかる。 ・しまくとぅばの表記や分類には、はっきりとした統一見解がなく、苦慮しているが、辞典発刊に向け、暫定的な表記や分類、意味を都度ブラッシュアップし、その内容を単語帳にも反映させた。	(HP(データベース)アクセス数) ・HP上のデータベースに民話や童謡、音声、用例、画像などのさらなる拡充を目指す。 ・しまくとぅば単語帳(語彙データベース)に関しては、沖縄語としての体系的説明にも考慮し、その内容を検討する。そのため言語学者など有識者からのヒアリング、検討会議に継続して取り組む。
	(講座総受講者数および講座満足度) ・受講者は、子ども580人、大人121人と幅広い世代に向けた講座に取り組めた。満足度にも若干の上昇がみられた。 ・講座は、動画配信サイトも活用しオンデマンド(アーカイブ)配信を行っている。 ・展示や村広報誌のアンケートでは、県外、村外からの移住者の方からも、読谷村の文化、言葉を知ることができて良いと好評を得ている。引き続き幅広く、村民への普及、PR活動にも取り組む。	(講座総受講者数および講座満足度) ・これまでの本事業内成果物を活用し、普及啓発のための種々の講座に継続的に取り組んできた。今後は学校クラブなどでの連続講座にも注力する。 ・更なる沖縄語の普及のためには、話すことができる世代の協力が必須である。そのために沖縄語を話すことができる母語話者村民や、聞くことはできるが、話すことが苦手の村民らが、積極的に、使用することできるような場の構築を図っていく。
今後の取り組み方針		
(HP(データベース)アクセス数) ・ホームページ(しまくとぅばデータベース)のコンテンツを拡充し、より魅力的なサイト構築に取り組む。 ・沖縄語(しまくとぅば)学習に寄与するためHPコンテンツ「読谷村しまくとぅば単語帳」を発展させ、体系的な単語集(辞典)を発刊する。 (講座総受講者数および講座満足度) ・村内各地域団体、学童、保育所、学校等での沖縄語(しまくとぅば)講座を実施する。特に連続講座に複数取り組み、受講者が沖縄語に継続的に触れることができる機会を創出する。 ・本事業、沖縄語保存継承、普及啓発の目的・意義を広く周知理解を広めるため、講座内容、実績を報告書として発刊する。 ・しまくとぅばの日(9月18日)に併せたユンタンザミュージアムでの企画展・講座を実施し、これまでの展示会実績、読谷村のしまくとぅばを周知するため、「衣食住」のしまくとぅばに関する展示資料集を発刊する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>12,807</td><td>12,807</td><td>10,245</td><td>2,562</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,807	12,807	10,245	2,562	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,807	12,807	10,245	2,562	0										
<table><tr><td rowspan="4"> 読谷村 12,807千円 </td><td> 報酬 10,806千円 </td><td>(会計年度任用職員 6名 報酬)</td></tr><tr><td> 職員手当等 1,794千円 </td><td>(会計年度任用職員 6名 報酬)</td></tr><tr><td> 報償費 42千円 </td><td>(講師謝礼金 講座担当講師 5名)</td></tr><tr><td> 旅費 164千円 </td><td>(会計年度任用職員 6名 費用弁償(通勤手当))</td></tr></table>					読谷村 12,807千円	報酬 10,806千円	(会計年度任用職員 6名 報酬)	職員手当等 1,794千円	(会計年度任用職員 6名 報酬)	報償費 42千円	(講師謝礼金 講座担当講師 5名)	旅費 164千円	(会計年度任用職員 6名 費用弁償(通勤手当))	
読谷村 12,807千円	報酬 10,806千円	(会計年度任用職員 6名 報酬)												
	職員手当等 1,794千円	(会計年度任用職員 6名 報酬)												
	報償費 42千円	(講師謝礼金 講座担当講師 5名)												
	旅費 164千円	(会計年度任用職員 6名 費用弁償(通勤手当))												

資金の用途の流れ・費目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。 ○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則及び要綱により予算規模を決定しており、適切な規模であった。 ○費目・使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施 (予定)年度	平成30～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	16,504		244,696	115,546	178,371
		(b)予算現額	15,070		170,915	115,546	124,602
		(c)増減額(b-a)	▲1,434	0	▲73,781	0	▲53,769
		(d)繰越額					0
		A.計(b+d)	15,070	0	170,915	115,546	124,602
	B.執行済額		15,070		170,915	106,217	122,507
	うち交付金充当額		12,056		136,731	84,973	98,005
	次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		100.0%		100.0%	91.9%	98.3%
予算の状況の説明		8月23日に建築工事入札、9月15日の議決を持って工事契約。追って10月10日に電気設備工事、機械設備工事を契約した。建築工事に土木工事の範囲も含めて発注することができ、令和5年度の工事費を抑えることができた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ユンタンザミュージアム南側駐車場便益施設整備	目 標	()	(用地購入)	()	(1棟)	
		実 績		用地購入		RC造 平屋建て 床面積 72㎡	
	ユンタンザミュージアム南側駐車場東屋整備	目 標	()	(用地購入)	()	(2棟)	
		実 績		用地購入		鉄骨造 平屋建 床面積82.72㎡	
達成状況説明	▶便益施設(駐車場トイレ)を整備 沖縄の建築文化を感じる赤瓦屋根を葺き、花ブロックには琉球ガラスをはめ読谷山花織の基本図形を表示、また、手水鉢に読谷村で活躍するやちむん作家の作品を使用することで、読谷村の文化を感じることのできるトイレを整備することができた。 ▶東屋(2棟)の天井部に読谷村を紹介する写真パネルを設置し、東屋で休憩中に読谷村の自然・歴史・文化等を学ぶことができる。 座喜味城跡を訪問する観光客が、車を降りた瞬間から読谷村を感じてもらえるような施設整備ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)
	駐車場整備工事(土木・建築)の完了	目 標	()	()	()	(整備完了)	()
		実 績				整備完了	
	【R6成果目標】 世界遺産来訪者及び来館者数 座喜味城跡:205,500人	目 標	()	()	()	()	(205,500人)
		実 績					
	【R6成果目標】 世界遺産来訪者及び来館者数 ユンタンザミュージアム:40,500人	目 標	()	()	()	()	(40,500人)
		実 績					
	進捗状況説明	・ユンタンザミュージアム南側駐車場便益施設建築工事の完了 ・ユンタンザミュージアム南側駐車場便益施設電気設備工事の完了 ・ユンタンザミュージアム南側駐車場便益施設機械設備工事の完了 令和6年3月25日工事完成。同年3月29日完了検査。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	前年度繰越分工事の竣工後の施行であったため、工期が短い中での施行となった。	毎週開催した工程会議の場で、発注・納品時期、工事の進捗状況などを細かく確認する事で、短い工期でも十分対応できる。
今後の取り組み方針		
ユンタンザミュージアム及び座喜味城跡の利用者の利便性の向上のため、駐車場と便益施設(トイレ・東屋)の維持管理を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象外 経費</th></tr> <tr> <td>122,507</td><td>122,507</td><td>98,005</td><td>24,502</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 122,507千円 工事請負費 122,507千円 株式会社 山中組 91,124千円 有限会社 アート電気工事社 14,300千円 長浜設備 17,083千円 ユンタンザミュージアム南側駐車場 便益施設建築工事 ユンタンザミュージアム南側駐車場 便益施設電気工事 ユンタンザミュージアム南側駐車場 便益施設機械設備工事					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象外 経費	122,507	122,507	98,005	24,502	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象外 経費										
122,507	122,507	98,005	24,502	0										
資金 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○工事内容に合わせて積算され適正な支出だ考える。 ○費目、使途については完了後の精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村								
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	3-③	歴史資料の整理活用事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア				
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施 (予定)年度	令和4～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及				
					Ⅲ-3-(3)				
事業内容	沖縄戦を境として、米軍統治を経た沖縄戦後史の実相を理解することができる歴史資料が本村には多く存在する。また本村は、これまで地域史の継承を意図し、多岐にわたる史資料を収集、蓄積してきた。沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、これら種々の歴史資料や歴史公文書等を順次調査し、整理・保存・公開を行う。								
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)								
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()								
予算額・執行額 【単位:千円】 〔「交付金」+ 「市町村負担」 ベース〕	予算の 状況	(a)当初予算額				R4年度	1,011	R5年度	14,239
		(b)予算現額					927		14,379
		(c)増減額(b-a)					▲ 84		140
		(d)繰越額							
		A. 計(b+d)					927		14,379
	B. 執行済額						884		14,232
		うち交付金充当額					707		11,385
		次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)						95.4%		99.0%
	予算の状況の説明		新規会計年度任用職員任用に伴う報酬および職員手当、旅費の差額2千円を減額した。 人事院勧告に伴う会計年度任用職員の報酬および職員手当314千円を増額した。 入札残額が生じたため委託料106千円を減額した。 執行残額が生じたため備品購入費66千円を減額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況						
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	元読谷村長寄贈資料の整理及びデジタル化、データベース化	目 標	()	()	()	(実施)	(実施)		
		実 績				実施	実施		
	終戦直後村復興に関わる貴重資料のHP公開	目 標	()	()	()	()	(公開)		
		実 績					公開		
	収蔵資料の整理、ID化、目録化	目 標	()	()	()	(実施)	(実施)		
		実 績				実施	実施		
	1950年代からの村広報誌データベースシステム(検索システム)HP公開	目 標	()	()	()	()	(公開)		
		実 績					公開		
達成状況説明	・村史編集室が所蔵する歴史資料のうち優先度の高い貴重な歴史公文書等より整理、目録化を実施。 ・元読谷村長より寄贈された資料群(復帰以前資料が中心)のうち貴重資料は、業務委託によりファイリング、デジタル化を行い、全資料のデータベース化を完了した。 ・戦後復興初期の貴重資料を選定し、デジタル化、テキスト化した資料をHP公開した。 ・村史編集室収蔵資料(図書、公文書、写真等)の整理、登録、目録化を進めた。 ・読谷村の戦後の歩みを示す歴史資料である村広報誌をデジタル化、テキスト化しHP公開した。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)		
	元読谷村長資料のデジタル化資料点数(簿冊)	目 標	()	()	()	(500件)	()		
		実 績				531件			
	戦後復興資料のHP公開点数	目 標	()	()	()	(100件)	()		
		実 績				101件			
	村史編集室収蔵図書・資料の登録点数	目 標	()	()	()	(約10,000点)	()		
		実 績				約12,000点			
	1950～2000年代までの広報記事公開件数	目 標	()	()	()	(約17,000件)	()		
		実 績				17,105件			
	【R6成果目標】 読谷村の歴史、文化への理解が深まったとする回答割合80%以上、HPアクセス数8,500回以上		目 標	()	()	()	()	(割合:80%以上 アクセス数: 8,500回以上)	
		実 績							
進捗状況説明	・元村長寄贈資料のデータベース化完了し、目標値を達成した。個人情報の有無など確認し今後の公開を目指す。 ・戦後復興資料のデータベースサイトに目標資料数を公開した。今後も資料追加を行い、本村の歴史、文化への理解を深めることに寄与する。 ・村史編集室収蔵資料の登録点数目標値を上回った。今後も継続的に資料登録を行う。 ・読谷村広報データベースサイトに目標記事件数を公開した。本サイトの周知を行い、閲覧者数を増やし、本村の歴史、文化への理解を深めるツールとして活用を促進する。								

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(村史編集室収蔵図書・資料の登録点数) ・目標を達成したものの、寄贈資料の追加などもあり、未整理及び未登録の収蔵資料がまだ多数ある。 (元読谷村長資料のデジタル化資料点数(簿冊)) (戦後復興資料のHP公開点数) (1950～2000年代までの広報記事公開件数) 直接雇用の会計年度任用職員(専門職員)は、専門的な資料の分類や入力作業を担い、ファイリング、デジタル化及びデータベースウェブサイト構築を業務委託することで、効率よく想定した成果をあげることができた。	(村史編集室収蔵図書・資料の登録点数) ・令和7年度に村史編集室は、(仮称)読谷村総合情報センターに移転予定であり、センターでの効率の良い収蔵を検討するとともに、資料の閲覧やレファレンスを促進するため、収蔵資料の検索が可能なデータベースの公開を視野に入れ作業を進める。 (元読谷村長資料のデジタル化資料点数(簿冊)) (戦後復興資料のHP公開点数) (1950～2000年代までの広報記事公開件数) ・公開したHP(データベースサイト)の利用促進、資料追加による充実を図るとともに、村民あるいは一般利用者に本村が保有する歴史資料の重要性などを周知する活動(展示会など)にも注力し、令和6年度の成果目標達成(読谷村の歴史、文化への理解が深まったとする回答割合、HPアクセス数)につなげていく。
今後の取り組み方針		
(村史編集室収蔵図書・資料の登録点数) ・令和7年度供用開始予定の(仮称)読谷村総合情報センターでの村史編集室運営を想定し、収蔵資料の検索システム公開を目指す。 (読谷村の歴史、文化への理解が深まったとする回答割合、HPアクセス数) ・整理作業の過程で貴重資料あるいは資料の閲覧需要が見込まれると位置づけられた資料のデジタル化や公開を順次行い、本村が保有する歴史資料の重要性周知と利活用に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>14,232</td><td>14,232</td><td>11,385</td><td>2,847</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,232	14,232	11,385	2,847	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
14,232	14,232	11,385	2,847	0										
読谷村 14,232千円	報酬 5,301千円	会計年度任用職員 3名 報酬 資料整理、登録、入力、資料の評価選別、解題												
	職員手当等 1,027千円	会計年度任用職員 3名 期末手当												
	旅費 159千円	会計年度任用職員 3名 費用弁償(通勤手当)												
	委託料 7,480千円	株式会社Nansei 3,960千円 株式会社東洋企画印刷 3,520千円	戦後貴重資料ファイリング及びデジタル化委託業務 読谷村広報誌及び戦後復興資料データベースウェブサイト構築委託業務											
	備品購入費 264千円	備品購入費 ノートPC(3台) 264千円	資料整理、登録、入力で使用											
資金の流 れ、 点 検 、 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入れ方式により決定した。業内実績を勘案し選定しており、妥当であると考え。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託料で入札残、備品購入費で執行残が生じたが、ともに仕様を満たしており適切な規模であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則及び要綱により予算規模を決定しており、適切な規模であった。											
			○費目・使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であった。											

市町村名		読谷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-④	フィールドミュージアム整備活用事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア			
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施 (予定)年度	令和5~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり			
事業内容	グスク時代開始期の遺跡である大湾アガリヌウガン遺跡と周辺環境を保全し、世界遺産座喜味城跡へと続く沖縄・読谷村の歴史と魅力を発信するフィールドミュージアムとして整備し、教育及び観光資源として活用する。令和5年度は、大湾アガリヌウガン遺跡(令和5年8月村指定文化財に登録)用地を購入。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和9年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額						112,523
		(b)予算現額						112,523
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)繰越額					0	
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	112,523	
	B. 執行済額						112,523	
	うち交付金充当額						90,018	
	次年度繰越額						0	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
予算の状況の説明		土地所有者との交渉も含め、事業計画通りに執行できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
	用地購入		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
		目 標	()	()	()	(用地購入)		
		実 績				用地購入		
		目 標	()	()	()	()		
	実 績							
達成 状 況 説 明	事業計画どおりに執行できた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R9年度)	
	用地購入の完了 大湾アガリヌウガン遺跡(村指定文化財)(大湾16番、大湾17番)	目 標	()	()	()	(完了)	()	
		実 績				完了		
	【R9成果目標】 大湾アガリヌウガン遺跡を訪れた人数:10,000人	目 標	()	()	()	()	(10,000人)	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	用地購入を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	計画通りに大湾アガリヌウガン遺跡用地購入。	修学旅行や観光客の利用促進や利活用につながるフィールドミュージアムを構築するためには、契約事業者と連携を密にし、令和6年度の基本設計、令和7年度の実施設計、令和8年度以降の整備工事を効率よく進めていく。
今後の取り組み方針		
今後も財源の調整を行い整備を進めていく。読谷村の文化財めぐりを観光コースに取り入れてもらえるよう、整備施設を効果的に周知するための手段の検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>112,523</td><td>112,523</td><td>90,018</td><td>22,505</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	112,523	112,523	90,018	22,505	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
112,523	112,523	90,018	22,505	0										
読谷村 112,523 千円 公有財産購入費 112,463 千円 読谷村字大湾郷友会 (地権者) 112,463千円 大湾アガリヌウガン遺跡用地 2筆 (大湾16番、17番) 需用費 60 千円 印紙代 (土地売買契約書用)														
資金使途の流れ、点検評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村指定文化財地の購入であり、地権者との調整であった。 ○不動産鑑定額に基づき、財産価格検討委員会で購入額を確定。 ○費用・使途は用地購入費と印紙購入費であり適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-エ		
担当部課名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成26～令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	伝統工芸の振興			
事業内容	1978年に策定した「ヤチムンの邑(むら)」基本構想により、村づくりにおいてヤチムン(琉球陶器)の振興を推進してきた。今後のヤチムンの持続的発展を目指し、県外マーケットにおいてマーケティングやプロモーションを行うとともに、販路拡大や人材育成に取り組んでいく。また、併せて村内工芸品である読谷山花織・琉球ガラスの販路拡大を図っていく。							
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	8,434	4,989	4,733	4,069	3,845	
		(b)予算現額	4,894	2,949	2,772	3,278	3,503	
		(c)増減額(b-a)	▲3,540	▲2,040	▲1,961	▲791	▲342	
		(d)繰越額						
	A.計(b+d)		4,894	2,949	2,772	3,278	3,503	
	B.執行済額		4,681	2,131	2,772	3,072	3,089	
	うち交付金充当額		3,744	1,682	2,218	2,457	2,471	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		95.6%	72.3%	100.0%	93.7%	88.2%	
予算の状況の説明		ヤチムンの冊子とパンフレットをそれぞれ二回の増刷を予定していたが、イベント(陶器市)の中止により、配布数が減少することが予想されたため、増刷を見直したことによる残額である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	県外プロモーション出展・調整及びテストマーケティング		目標	(1回)	(3回)	(2回)	(2回)	
			実績	0回	3回	2回	3回	
	観光客向け県内プロモーション		目標	(3回)	(3回)	(4回)	(4回)	
			実績	1回	1回	3回	3回	
	周知用媒体ツール(琉球ガラス・ヤチムン冊子、パンフレット)の作成		目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実績	実施	実施	実施	実施	
	オンラインイベントの実施		目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	・展示商談会(大阪国際ナショナルギフトショー)、物産展(横浜高島屋)、テストマーケティング(セレクトショップcotogoto)にて出店等を行った。 ・観光客向け県外プロモーションとして「読谷WEBやちむん市」、「やちむんと工芸市」、「読谷やちむん市」にてプロモーションは行えたが、「陶器市」は中止となってしまったため、3回にとどまった。 ・ヤチムンの冊子、パンフレット、「よみたん琉球ガラスMAP」を継続して増刷を行い、プロモーションに活用に役立った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	陶器市の来場者数		目標	()	(14,776人)	(14,776人)	(14,776人)	()
			実績		-	-	-	
	物産展売上金額		目標	()	(73,400円)	(72,750円)	(109,175円)	()
			実績		70,800円	85,160円	171,563円	
	展示会(見本市)商談数		目標	()	(17件)	(25件)	(10件)	()
			実績		47件	-	23件	
	WEBヤチムン市(オンラインイベント)売上額		目標	()	()	()	(4,403,127円)	()
			実績		6,700,108円	4,857,766円	2,524,948円	
	【参考指標】 WEBヤチムン市アクセス数		目標	()	()	()	()	
実績				13,598件	18,883件	10,646件		
進捗状況説明	・12月開催予定であった陶器市は、開催中止となったため、来場者数は計測不能となった。 ・展示商談会は大阪で開催された「大阪国際ナショナルギフトショー2023」に村内1工房と参加し、23社と商談を行うことができた。 ・物産展は「琉球クラフト展in横浜高島屋」に出展し、商品販売171,563円売上げることができた。 ・テストマーケティングとして、昨年に引き続き「セレクトショップcotogoto」での展示販売企画で、昨年少し上回り427,098円売上げることができた。 ・WEBヤチムン市(11/1～12/3)へのアクセス数は10,646件で、開催期間が短かったこともあり昨年度の約6割程度となった。内訳は約78%が県外在住の方で、約22%が県内在住の方となった。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化） （物産展売上金額・展示会商談数） ・以前は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、卸、注文が減少しているという話もあり、商談会（見本市）に出展していたが新型コロナウイルス感染症による外出や入店などの規制緩和、取引店舗がネット販売を始めるなどの状況変化により、取引が回復し作品生産で多忙となったため、出品する工房、参加する工房が少なくなった。ただし、物産展、商談会に参加するとバイヤー、一般客、いずれもニーズが高いことが把握できた。 （【参考指標】WEBやちむん市アクセス数） ・新型コロナウイルスが第5類に移行し観光客の入域も増加しているため、各工房のWEBやちむん市に対するニーズは減り、対面販売に移行してきている。 ・次年度は、別の取り組みを検討していく。	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点） （展示会商談数・物産展売上金額） 商談はニーズは高いが、現状、工芸工房が供給することができない状況があるため、今後はテストマーケティング、物産展などの販売、認知度向上の機会に切り替えることができればと思う。 （陶器市の来場者数） 令和元年以降、開催することができていない。再開のめども立っていないため、成果目標を変更する必要がある。
	今後の取り組み方針 （物産展売上金額・展示会商談数・） ・新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、観光入込客数も回復傾向に向かっているため、現地消費を促すためのPRにも努める必要がある。 ・令和4年度・5年度に行ったセレクトショップでの展示販売企画は売上、日数、認知度向上の観点からも良好であったため、次年度も同様の企画が実施できるようにセレクトショップや百貨店などにアプローチする。 ・WEBやちむん市の取り組みについて、新型コロナウイルス感染症の第5類移行や各工房のニーズの減少など状況変化があったため、別取り組みを検討していく。	

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,089	3,089	2,471	618	0


```

graph LR
    A[読谷村  
3,089千円] --- B[旅費  
375千円]
    A --- C[需用費  
1,336千円]
    A --- D[役務費  
410千円]
    A --- E[委託料  
389千円]
    A --- F[使用料及び賃借料  
577千円]
    B --- G(県外プロモーションの為の旅費)
    C --- H(「旅とヤチムン」及び「ヤチムン散歩」、「よみたん琉球ガラスMAP」のリーフレットの増刷など)
    D --- I(通信運搬費  
ラジオCM広告料  
物品搬入出料)
    E --- J(WEBやちむん市のホームページ  
運営・管理委託料)
    F --- K(物産展・展示会における  
物品借料及びブース使用料)
  
```

The diagram illustrates the flow of funds from Tachibana Village (total 3,089 thousand yen) to various activities. The funds are categorized as follows:

- 旅費 (Travel):** 375 thousand yen. Used for county-wide promotion.
- 需用費 (Expenses):** 1,336 thousand yen. Includes materials for "Ryukyu Map" and other publications.
- 役務費 (Staff Fees):** 410 thousand yen. Covers communication, transportation, radio CM advertising, and item handling.
- 委託料 (Commission Fees):** 389 thousand yen. Paid for website operation and management commission.
- 使用料及び賃借料 (Usage and Lease Fees):** 577 thousand yen. Used for product exhibitions, displays, and booth rentals.

市町村名	読谷村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計策定事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(13)-ア		
担当部課名	ゆたさむら推進部 農地活用推進課	事業実施 (予定)年度	令和3～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	駐留軍用地跡地の特性を生かした効果的な跡地利用の推進		
事業内容	瀬名波通信施設跡地は、農用地と非農用地に分け土地利用を計画しているが、農用地部分の整備は県営土地改良事業で実施されるものの、住宅用地等になる非農用地部分の整備は補助対象外となっている。農用地と非農用地部分とは用途は異なるものの、換地計画は県営土地改良事業の業務で行うことから、非農用地部分の詳細な計画(設計)が必要であるため設計段階から一体的な地区形成として取り組むため、非農用地部分の実施設計を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額			29,414	40,161	44,726
		(b)予算現額			28,050	39,600	39,820
		(c)増減額(b-a)			▲1,364	▲561	▲4,906
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)			28,050	39,600	39,820
	B.執行済額				28,050	39,600	39,820
	うち交付金充当額				22,440	31,680	31,856
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)				100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		計画通りに執行できた。4,906千円の減額は委託の入札残の減によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	非農用地部分の基本設計委託業務の実施	目 標	()	(実施)	()	()	
		実 績		実施			
	非農用地部分の実施設計委託業務の実施	目 標	()	()	(実施)	(実施)	
		実 績			実施	実施	
達成 状 況 説 明	令和5年度実施設計委託業務を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	基本設計及び実施設計の完了	目 標	()	(完了)	(完了)	(完了)	()
		実 績		完了	完了	完了	
	県営土地改良事業及び関係機関との整備や換地計画に向けた調整	目 標	()	()	(実施)	(実施)	()
		実 績			実施	実施	
	進 捗 状 況 説 明	予定していた実施設計委託業務を完了し、目標を達成した。また、換地計画に向けた調整も行うことができ、土地利用計画を進めることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(実施設計の完了) ・R4年度に引き続き、予定していた実施設計(南エリア)を完了することができた。 (県営土地改良事業及び関係機関との整備や換地計画に向けた調整) ・引き続き非農用地の一体的整備促進に向けて、関係機関との調整を行う必要がある。	(実施設計の完了) ・非農用地整備実現に向けて施工ができる事業を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
(実施設計の完了) ・非農用地の整備について、引き続き整備実現に向け、工事施工できる手法を模索続ける。 (県営土地改良事業及び関係機関との整備や換地計画に向けた調整) ・農用地と非農用地の一体的土地利用計画については、土地改良事業の事業主体である沖縄県と常に調整を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>39,820</td><td>39,820</td><td>31,856</td><td>7,964</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 39,820千円 委託料 39,820千円 株式会社ベストコンサルタント 39,820千円 〔令和5年度 瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計委託費〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	39,820	39,820	31,856	7,964	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
39,820	39,820	31,856	7,964	0										
資金使途の流れ、点検・評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであるか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-②	第3次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(13)-ア 駐留軍用地跡地の特性を生かした効果的な跡地利用の推進			
担当部課名	ゆたさむら推進部 企画政策課		事業実施(予定)年度	令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8		
事業内容	「第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画」を踏まえ、改めて整備施設の規模・配置を明らかにし、村民センター地区全体の土地利用を確定するための基本計画を策定する。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額						9,383
		(b)予算現額						6,105
		(c)増減額(b-a)						▲3,278
		(d)繰越額						0
		A.計(b+d)						6,105
	B.執行済額						6,105	
	うち交付金充当額						4,884	
	次年度繰越額						0	
	執行率(%) (B/A)						100.0%	
予算の状況の説明		入札執行により、当初予算額に対し▲3,278千円となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	基本計画の策定	目 標	()	()	()	(実施)		
		実 績				実施		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	令和5年度基本計画委託業務を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R6年度)
	基本計画策定の完了	目 標	()	()	()	(完了)	()	
		実 績				完了		
	【R6成果目標】 策定する計画の中で、主要施設の入込客数等返還軍用地跡地利活用に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした跡地利用促進施策を実施	目 標	()	()	()	()	(実施)	
		実 績						
	進捗状況説明	基本計画策定委託業務を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(令和5年度基本計画策定の完了) R5年度に予定していた基本計画策定を完了することができた。	(各施設の整備完了) ・基本計画に基づき、各施設の設計・建設工事を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
策定した基本計画を基に、屋内運動場(ドーム)や運動広場、テニスコート、多目的広場等の個別施設整備計画を遂行する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>6,105</td><td>6,105</td><td>4,884</td><td>1,221</td><td>0</td></tr></table> 読谷村 6,105千円 委託料 6,105千円 株式会社ランドブレイン 沖縄事務所 6,105千円 (令和5年度 第3次読谷補助飛行場跡地村民セ)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,105	6,105	4,884	1,221	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,105	6,105	4,884	1,221	0										
資金使途の 流れ・点検 評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であった。 ○予算の規模、費目・使途については、事業目的達成に真に必要な経費であるか、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	かんしょ生産振興事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア		
担当部課名	ゆたさむら推進部 営農知産地笑推進課		事業実施 (予定)年度	令和5～令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	駐留軍用地跡地の特性を生かした効果的な跡地利用の推進		
事業内容	読谷村の特産品である「紅いも」において、サツマイモ基腐病の流行による離農や他農作物への転作により生産量が減少している。また、小規模農家が多く手作業での整地・収穫を行うため、効率的な生産や新規就農がしやすい状況にある。本事業により、農業用機械を整備し、効率的な生産体制の確立を図り、安定した出荷体制の構築、生産農家の作付面積拡大・所得向上を目指す。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度（令和8年度）							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額						8,349
		(b) 予算現額						6,072
		(c) 増減額 (b-a)						▲ 2,277
		(d) 繰越額						0
		A. 計 (b+d)						6,072
	B. 執行済額						6,072	
	うち交付金充当額						4,857	
	次年度繰越額							
	執行率（％）(B/A)						100.0%	
予算の状況の説明		計画通りに執行できた。2,277千円の減額は、備品購入の入札残の減によるものである。						
活動目標（指標）及び達成状況	R5活動目標（指標）			達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	農業用機械の購入整備 （いも類収穫機）	目 標	()	()	()	()	農業用機械の購入整備	
		実 績					農業用機械の購入整備	
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	かんしょ生産振興において、労働力軽減、担い手確保に資する農業用機械の導入を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）			基準値 （年度）	年度	年度	R5年度	目標値 （R8年度）
	農業用機械の購入整備を実施	目 標	()	()	()	()	実施	()
		実 績					実施	
	【R8成果目標】 生産農家数（R5年度比）：5%増 作付け面積（R5年度比）：1ha増	目 標	()	()	()	()	()	5%増 1ha増
		実 績						
	進捗状況説明	予定していた機械購入を完了し、年度目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(農業用機械の購入整備) ・トラクターや付属機器などを購入し、紅イモ生産振興の環境整備に繋がった。	(農業用機械の購入整備) ・栽培や収穫など営農時期に合わせた適切な機械導入を計画検討の必要がある。
今後の取り組み方針		
(農業用機械の購入整備) ・生産振興に寄与する機械購入の利活用について周知を強化し、利活用拡充に努める。利用拡充により、今後の生産農家の労働力軽減、生産量増、品質向上に向け取り組む。令和6年度以降も、年次的に機械導入を実施し、生産環境の整備を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,072</td><td>6,072</td><td>4,857</td><td>1,215</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 6,072千円 備品購入費 (2件) 6,072千円 株式会社くみき 5,159千円 ヤンマー沖縄株式会社 913千円 (令和5年度 かんしょ生産振興事業 (トラクター式)購入) (令和5年度 かんしょ生産振興事業 (つる切機)購入)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,072	6,072	4,857	1,215	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,072	6,072	4,857	1,215	0										
資金使途の流 点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。 ○予算規模及び事業内容は、適正だったと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであるか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												